

ものづくり企業を全力で支援

(公財)かがわ産業支援財団

(公財)かがわ産業支援財団は、香川県産業成長戦略に沿って、県内ものづくり企業の技術の高度化や販路拡大、競争力の強化、成長分野進出などを支援しています。

プロテックさんも参加している「かがわ次世代ものづくり研究会」や「JS(自立化推進)研究会」といった各種研究会で勉強会や先進企業視察を開催するほか、新規取引を支援する「発注開拓コーディネーター」による企業間のマッチング、大手企業との展示商談会、国内外の展示会への出展支援など、さまざまな支援を行っています。



機械要素技術展(東京ビッグサイト)



どんな部品も、基本的に機械操作のルーティンで量産が可能です。重要なのは加工法を確立するまで。設計図をもとに、部品の用途に応じた加工のポイントを見極め、複雑で柔軟なプログラムを組む発想力が問われます。「精度の高いものづくりは、環境が支えます。技術、人材、設備、環境整備に力を注ぎ、工場を拡大するとともに、2010年には中小企業で四国初となる「JIS Q 9100」を取得。航空宇宙産業に求められる品質水準を示す日本工業規格で、取得の数年後にはエアバス機のエン

ものづくりは環境が重要

エンジンのバックライトから航空機のエンジンまで、いろいろなところで私たちの日常生活を支えています。創業以来、設備的に対応できる製品であればどんな依頼も断らず、難しい要望や新しい技術にも常に挑戦し、必ず実現することをモットーとしてきました。「品質の高い品物を納期通りにきちんと納めていければ、製品そのものが営業をしてくれる。これ以上はやらない、無理だ、という上限をつくらないから、ずっと成長し続けられるのだと思います」と木村義春社長。



木村義春社長

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 取引支援課
☎087-868-9904

「もちろん、精度もさらに高めていきたい。競合相手の少ない分野でもあり、そこに挑戦していくのはやっぱりやりがいがありますよ」と力強く語ってくれました。

ジン部品を作ってほしいという依頼が舞い込みました。「安定した長期ニーズが見込める航空産業には、今後も力を入れたい」と語ります。



立方型の枠の中に収まる球体。球体は固定されておらず、枠内で自在に動かしたり回転させることができる独立したパーツです。別々に作って組み立てたようにも見えませんが、実は一つのアルミニウム塊から機



自分の限界を決めない チャレンジ精神で勝負

半導体から航空機まで 精密加工のトップランナー

機で一気に削り出したもの。滑らかでひずみのない完璧な形は、プロテックの誇る精密加工と3Dの高い技術力を象徴しています。同社は真空装置用の部品をプレス加工する業界初の工場としてスタート、少しずつ事業を展開してきました。現在は半導体の製造に使われる部品や航空宇宙関連部品といった、ミクロン単位の精密加工技術が求められる重要部品を製造しています。製品そのものが私たちの目に触れる機会は少ないものの、同社の製品を使って作られたものは、スマート

挑戦する かがわの ものづくり企業

香川発の高い技術力や独創的な発想を生かし、小規模ながら全国、世界で活躍するパワフルな企業があることを知っていますか?私たちの暮らしにも実は深く関わっている、ユニークなものづくり企業にスポットを当てました。

株式会社プロテック

住所 高松市中間町1139-8
設立 1988年

